

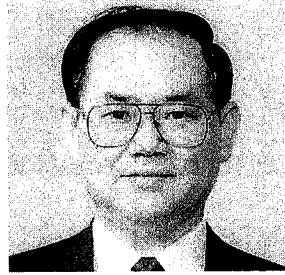
日本をキリストへ 協力

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
TEL 03-3291-5035 (総動員伝道内)
www.gospeljapan.com/dd/

「霊に燃え、主に仕えよ」

伝道団体連絡協議会 役員 姫井雅夫



右の聖句はローマ十二章十一節です。今年の四月に天に召された本田弘慈先生はこの聖句を色紙に書かれ、多くの教会にブレゼントされました。日本中の教会を訪ねてみると、先生が書かれたこの聖句の額が飾られています。先生が生涯かけて主に仕えられたのは、まさに聖霊に

燃やされておられたからでしょう。先生は日本福音クルーズの主管であられ、その他にも多くの伝道団体の役職を兼ねておられました。先生が天にお帰りになった事をもって一時代が締めくくられたような気がいたします。

① 時代の変わろうと主のみ業が進められるところには聖霊のお働きがなくてはなりません。主イエスが天にお帰りになる前に約束を残されました。使徒の働き一章三節から九節に目を留めてください。ここに三つのことが記されています。

① 父の約束を待ちなさい。(四節)

神は何を約束なさったのでしょうか。それは聖霊が注がれるということでした。その時を待ちなさい、と言われたのです。つまり聖霊のバプテスマを受けるとの約束です。これはペンテコステの日に成就しました。

② 再臨の時には知らなくて良い(七節)

最近ではテロの事件をはじめ、多くの恐ろしい事件が多発

しています。ヨーロッパのEUの動き、パレスチナとイスラエルの動き、環境汚染と温暖化、戦争がいつ起こるか分からぬような不穏な動き。主の再臨は近いのだろうか。再臨の時に関する憶測が飛び交っています。このことに関する小説も話題をよんでいます。しかし聖書は、時に關してあなたがたは知らなくてよいのです、と言われました。それがいつであつても良いように、主との關係を正しておく事です。

③ 地の果てにまでわたしの証人になる(八節)

そこで今、私たちに求められていることは、主の証人として自分のいる所をはじめ世界宣教に励む事です。今年にはサッカーのW杯が韓国と日本のそれぞれ十都市で開催され、諸企画が実行に移され、伝道がなされました。先日、韓国の釜山でアジア大会が開催されました。早速、釜山に行き、選手村で出会ういろいろな国の選手たちに声を掛け、トラクトや聖書を手渡してきました。街では諸外国から観戦にきている人々に伝道がなされました。

伝道団体は多岐にわたる伝道方策をもち、それに用いる事が出来る資料を持っています。教会には人材があります。聖霊に満たされ、燃やされている人々と共に主に仕えさせていたいただきたいのです。教会と伝道団体が手を取り合つて宣教の業に励みましょう。知らなくて良いことは知らなくてよいのです。すべきことはしなければならぬのです。

約束されている聖霊こそがかがぎです。聖霊に満たされ、霊に燃えた主の証人になり、救霊の働きに励みましょう。

一日研修会報告

日本聖書協会総務部 野中陽子



マにとりあげた。講師は「壊れた私、元気になつた」(いのちのことば社刊)の著者で、北海道余市で恵泉塾を開き、都心の不登校や引きこもりの青少年やその家族とともに聖書の学びと農作業を通して立ち直らせている水谷恵信師を招き、教育講演会というスタイル(「手渡そう、子供に生きる力を・閉じこもり、不登校から立ち上がる」)で開催された。

二〇〇二年十一月十五日(金)、お茶の水クリスタルセンター八階チャペルにおいて、当日は、チャペル入口ホールを加盟団体のブースとして貸し出した。八団体が参加し、展示品・ビデオ・チラシ・ポスターなど来場者に案内できるように十時よりセッティングを行った。

講師の水谷恵信師とご夫人、スタッフの方々も早めに到着され、総動員伝道・北條和人師の祈りの後、十一時三十分よりスタッフミーティングを行った。

正午より開場、あいにくの曇り空にもかかわらず、待ちに待った東京での講演会ということにスタッフを含め三百名余りの入場者を記録した。

午後一時より開始、始めに五分程の恵泉塾紹介ビデオが放映され、百万人の福音・救生田充兄の進行により、主催者あいさつと開会祈禱を伝道団体連絡協議会会長・村上宣道師、講師紹介を百万人の福音編集スタッフ・村上知栄子姉が担当し、予定通り午後一時二十分より講演が始められた。会場は熱気に満ち、皆真剣な眼差しで水谷氏の講演に聞き入った。

講演内容を一部抜粋する。数年前から特に下降している日本の教育現場の現状を憂い、神の啓示により高校教師を辞め、恵泉塾を開いた。塾を開いてから日々感じているのは、日本全国のクリスタルセンターの中で、思った以上に多くの人に救いがない。一般の病院や施設などを漂流し、聖書からの救いを得ていない。父親の存在が薄れ、家庭の中で父親としての役割を果たせない。家庭が機能せず、家庭が家庭でなくなっている。子供たちは友達づきあいが下手、寂しげで親を相手にしない。子供たちはエゴイストにならざるを得ず、そうすることで自分で自分を守り支えている。学校の中では周りに合わせなければならず疲れてしまい、家庭では王様にならざるを得ない。

恵泉塾での実践は、家で助け合う、譲り合う、協力し合う体制を作ることである。家では家族



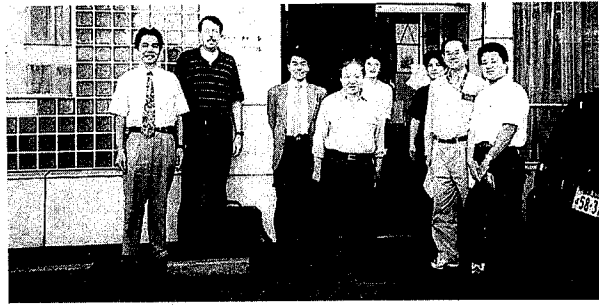
全員で家事を分担し、労働する。そうすれば、だれも王様にはならない。子供は本来好奇心があるはずなのに、学校の勉強に必然性がなければつまらない。生活実践を伴わない勉強は身につかないというのが日本の教育の現状である。今伝えたいことをいかに立体化して子供たちに伝えてゆくか。現状の教育は、やつつけ授業になつてゆく。テストで良い点数が取ればよい、ということになつていく。

子供は、本当は人生について聞きたがつていて、考えることが嫌いなのではなく、そういう教育を受けてきていない。自分の名前を呼んでくれる大人がいなかった。人間扱いされなかった。大人は子供にもっと人生を語って欲しい、本音を言って欲しい、どんな子供もそう考えている。子供は良い指導者に出会えていないから自分の人生に希望を見出せない。クリスタルセンターは神が青写真を作つてくれているから希望を持てるはず。現在のようなく上手く世渡りが出来る人でなければ上手く生きてゆけないという世の中はおかしい。クリスタルセンターがもつと光輝いて、たとえ下積み生活をしている人でも生きられる社会に変えてゆきたい。私たちが作ってきた社会が子供たちを苦しめている。子供たちに人生の本当の指導者「神」を示し、信頼できる唯一のもの「聖書」とおして人生の恩師を見出させた。子供たちは今、自分に本当に価値があるか悩んでいる。大人は、その子が神から私たちに託されたことを、祈り続けなければならぬ。

講演後、熱気に包まれたまま質疑応答に入り、数名の方から詳しい質問がなされた。また講演会終了後、更に詳細な質疑を希望される方のために行われた別室での懇談会は午後五時半迄に及び、まさに充実した、内容の濃い研修・講演会となつた。

伝道団体訪問ツアー

いのちのことは社伝道グループ



去る九月十九日に新宿区信濃町にある「いのちのことは社伝道グループ」を訪問しました。今回のツアーには、総動員伝道、日本キャンパスクルセード、百万人の福音、日本国際飢餓対策機構、国際ナビゲーターから、六名の参加者がありました。JR総武線信濃町駅から歩いて五分のところに奥まった一角に4階建てのビルが建っており、それがいのちのことがありました。ビルの一階には、シアタービル、企画、ライブ企画、二階には、フォレスト出版、出版サービス、ライブセンター本部、e企画開発室、総務部、三階に、出版部、E目C（全国家庭文書伝道協会）、CS成長センター、四階に、庭文書伝道協会）、恵みシャレー軽井沢、会長室、百万人の福音、恵みシャレー軽井沢、会長室、宣教師室、地下にはチャペルが設けられています。毎週火曜日の朝には、近隣の方にも開放した礼拝を地下のチャペルで持っておられるということですが、これだけ、多様なメディア宣教

の働きがここを拠点にされているわけですが。その他、全国には専門書店のライブセンターがあります。また、ホームページや電子メールを生かした先端的な企画にも取り組んでおられます。最後に、「いのちのことは社」百万人の福音編

集長の守部さんが、いのちのことは社の歴史と将来について熱く語って頂きました。従来、キリスト教関係の本はクリスチャンが読むものとして、キリスト教書店でしか取り扱っていませんでしたが、今後は、一般の方にも福音を知らせるための福音的な書物やメディアに力を入れていること、また全国のクリスチャンや求道者にキリスト教関係の書物を届けるために、個人や教会で書店を開設、運営できるように新しい企画を提案されていました。

今後、このメディア宣教の働きが、一億二千万人の日本人への福音宣教の導き役となつて、キリストの教会に仕える働きとして多くの実を結ぶようにと祈られました。
(国際ナビゲーター・スタッフ 渋沢浩二(一)記)

・次回は二〇〇三年二月六日(木)にJ.T.J宣教師学校を訪問予定です。どなたでも是非ご参加下さり、ともに祈り合います。詳細は後日各団体へ案内を送付します。

伝道団体紹介

マザーズ・カウンセリング・センター 今村冬生

マザーズ・カウンセリング・センター(MC)は、子供さんの不登校、無気力、ひきこもり、非行、家庭内暴力など、諸問題で悩んでいらっしゃるお母さま方のために、講演会やセミナー、カウンセリング等を通じてその解決へのアドバイスをし、場合によっては悩めるお母さま

ま方だけでなく、お子様とも面談して問題解決を図っています。その基本理念には福音的聖書信仰を基盤とした「愛による人間関係の回復」を最も重要な目標として掲げ、三十数年にわたってケア活動を続けています。

MCCは一九六九年に故山口千代乃女史によって設立され、当時、年々増加している青少年問題に深く心を痛め、その防止と治癒のためにキリスト教界の各分野の指導者に説いて回り、ついに自らその中心となつて東京・お茶の水で活動を始めたのが最初です。この活動に初期の段階から支えてきたのが現在九十二歳になる鈴木留蔵理事長です。

特に注目すべきは「愛はさばかず」の著書で有名な故伊藤重平師に長年セミナー講師となつて頂き、悩める母と子のケアに当たつてきたことです。その愛による人間関係の修復は、今日に至るまで引き継がれています。

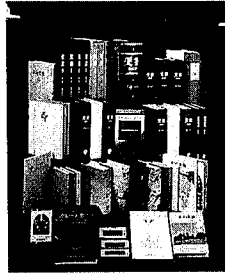
現在は、淀橋教会牧師であり、MCC専務理事である峯野龍弘師によるカウンセリング・セミナー等で、「愛による受容の奇跡」を中心に学び、さらにお母さま同志の交わりを通して励まし合い、健全な家庭づくりのための活動を行なっています。



「秋の一泊退修会」

新改訳聖書は、新改訳聖書刊行会によって一九六二年から翻訳が開始されました。聖書は「誤りなき神のことば」であるという信仰に立ち、十六巻の聖典を信じる立場から、今の時代の人々のために正確に、わかりやすく翻訳されました。一九六五年十一月に新約聖書、一九七〇年六月に旧約聖書が完成しました。これに先立ち一九六五年五月に日本聖書刊行会が設立され、一、世界の日本語を読む人々に聖書を広く読まれるように一、教会において聖書を尊重、愛読することを奨励三、日本中に新改訳聖書を広く頒布し、すべての教会とキリスト者に仕える、を目的としています。

約四十数種の聖書と点字版聖書やカセット聖書を出版・頒布し、一九九一年には日本初の「聖書電子ブック版」を完成し、聖書のCD-ROM化の幕開けともなりました。新改訳聖書は実に千二百万冊を突破して、さらに頒布が続けられています。



公 示

伝道団体 連絡協議会・情報交換会

日時：2003年2月5日(水)
14時～16時

場所：お茶の水OCCビル
415号室

※各伝道団体の情報を分かち合い、ともに祈りましょう。各団体1～2名のご参加をお願いします(詳細後日案内)。

●国際ナビゲーター

小グループによる学び会が週日の夜、OCC四〇二号室で行なわれています。十二月六日(金)十九時より、クリスマス集会(講師・アーサー・ホールランド)が開かれます。

●総動員伝道

三重県と千葉西地区に推進活動を進めています。なかなかまとまりを得ることが出来ず、苦慮しています。釜山でのアジア大会で伝道活動をしてきました。

●日本伝道者協力会

来年の四月十一日に渋谷教会で、本田師召天一周年記念大会を予定しています。若い教職の中から巡回伝道に召しを感じる方が起こされるようにと祈っています。

●日本キリスト伝道会

一九六三年に創立された日本キリスト伝道会は、一貫して日本全国の諸教会と協力して伝道してきましたが、来るべき年は各地域への責任担当者を中心に全力をあげて計画推進することになりました。

●いのちのこば社伝道グループ

ライフセンターをはじめ、全国のキリスト教書店は今が一年で一番忙しく、また宣教のチャンスでもあります。是非、各書店や流通センター・スタッフの霊肉が守られるようお祈り下さい。

●日本国際飢餓対策機構

再び厳冬を迎えるアフガニスタンでの支援活動のため、アフガン難民のため、派遣されている日本人スタッフのためにお祈り下さい。

(伝道団体連絡協議会とは)

キリスト教界には大きく分けて二つの分野があります。キリストの十字架の血によって罪赦された人々の集まりとしての「教会」と、クリスチャンになった者たちがそれぞれの使命をもって専門的な分野で伝道活動、福祉活動などを行っている「伝道団体」があります。

この二つはともに協力し合って神の福音を伝え、神の国の拡大に務めています。教会と伝道団体はともに助け合う必要があります。伝道団体がバラバラに活動していたのでは、教会にとって協力しにくいし、伝道団体相互にとっても力を欠くこととなります。そこで連絡のために一つになると「伝道団体連絡協議会」が生まれました。現在は約五十の団体が傘下にあります。

●献金のおねがい

各団体の多くは教会やクリスチャン個人、クリスチャン企業による献金によって成り立っています。しかしながらここ数年は多くの団体で経済的な困難に見舞われ、苦渋を味合わされています。教会とともに主の働きをしています「伝道団体」のために祈り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

(郵便振替〇〇一五〇一〇一五四六四四四)

発行日 二〇〇二年十二月六日

発行者 村上宣道

編集者 萩生田 充